

地域まちづくりニュース NO.1

発行日 2020年9月

発行者 羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会

サインづくり推進会の活動がスタートしました。

令和元年11月30日、神奈川東部方面線相鉄・JR直通線の開通により、待望の羽沢横浜国大駅が開業しました。現在駅前は何もありませんが、3年後の相鉄・東急直通線開通をめざして、中高層マンションや商業施設・プロムナードの建設工事が進行中です。このような駅前の変貌に合わせて新駅の利用者増加や商業施設へ来る人や車が増えて、にぎわいが予想されます。



開業した羽沢横浜国大駅



羽沢二丁目地区地区開発計画概要

今後、人や二輪車・自動車の往来が多くなると予想される中、地域の道路は狭隘の上歩道が確保されてなく、急勾配な坂道も多い等、バリアフリーの観点からも問題の多い道路環境と言えます。一口で言えば、駅舎と駅前の開発に比べ、周辺のアクセス道路の開発が遅れた地域と言えます。

そこで、行政に対してバリアフリー化を含む道路環境の整備を要請していくと共に、地域住民で道路を主体とするまちづくりに取組むことになりました。

2年前から横浜国大建築計画研究室の学生、羽沢地区・常盤台地区的住民、常盤台地域ケアプラザでワークショップを開催し駅周辺地域のバリアフリー化に取組み横浜市へ「羽沢横浜国大駅周辺のバリアフリー基本構想提案書」を提出し令和2年から横浜市のバリアフリー事業がスタートしました。又、このワークショップの中から地域で出来るまちづくりとして、駅周辺の坂や道路に住民でサインを作りこの地域に愛着を育み、安心・安全で歩いて楽しいまちづくりに取組む事になりました。このため「羽沢横浜国大駅周辺の愛着を育てるサインづくり推進会」(以下「サインづくり推進会」又は「推進会」)を地域まちづくりグループに登録し、地域まちづくりプランの策定に向けた活動をスタートしました。

「サインづくり推進会」について

この「推進会」に手を上げてくれた地域団体は以下の通りです。

羽沢地区自治連合会・羽沢南町内会・羽沢第一町内会・羽沢星ヶ丘自治会・

羽沢地区社会福祉協議会 常盤台地区連合町内会・常盤台北部自治会・常盤台住好自治会・

常盤台西部自治会・常盤台中部自治会・常盤台東部自治会・常盤台地区社会福祉協議会・

横浜国立大学建築計画研究室・常盤台地域ケアプラザ・常盤台コミュニティハウスの

全15団体でスタートしましたが、今後この活動に参加を希望する団体があれば機関で

検討し参加して頂きますのでお申し出下さい。

役員は下記のメンバーで構成し、「推進会」の企画・運営をしていきます。

会長 石川源七 常盤台地区連合町内会会长

副会長 和田勝巳 羽沢南町内会会长 羽沢地区社会福祉協議会会长

会計 橋本文伸 常盤台北部自治会会长 常盤台地区連合町内会副会长

監事 田宮照夫 常盤台中部自治会会长 常盤台地区社会福祉協議会会长

事務局 岡村佳那子 常盤台地域ケアプラザ生活支援コーディネーター

顧問 大原一興 横浜国立大学教授

委員 岐部文明 羽沢地区自治連合会会长

本間五三 羽沢星ヶ丘自治会会长

寺島雅春 常盤台住好自治会会长

鈴木正美 常盤台東部自治会前会長

古城高之 常盤台地域ケアプラザ所長

末永 萌 横浜国立大学大学院生

山波向日葵 横浜国立大学大学院生

宗像貞男 羽沢第一町内会会长

松下幹朗 常盤台住好自治会前会長

柿沼孝志 常盤台西部自治会会长

福田芳道 常盤台東部自治会会长

小川洋子 常盤台コミュニティハウス館長

松重美穂 横浜国立大学大学院生

「推進会」活動は、8月より横浜市から派遣されるコーディネーターの指導を受けながら、まち歩き、ワークショップ、アンケート、等で地域の皆様のご意見やご要望を「まちづくりプラン」にまとめ横浜市へ提出致します。 提出されました「まちづくりプラン」は、横浜市地域まちづくり推進委員会で審査して横浜市が認定しますと助成金等の支援を受けてサインづくりが実施されます。

この間、役員で毎月定例会を開き推進会の活動を進めて行きます。又活動状況を本誌「まちづくりニュース」で逐一住民の皆様にお伝えしていきます。



ワークショップ



バリアフリーまち歩き

先ず地元の坂や道に愛称をつけましょう！

日頃皆さんが歩いている坂や道に愛称をつける活動からスタートします。各自治会で、愛称を付けたい坂や道の候補を決めてもらい、その坂や道の愛称をアンケートで募集します。

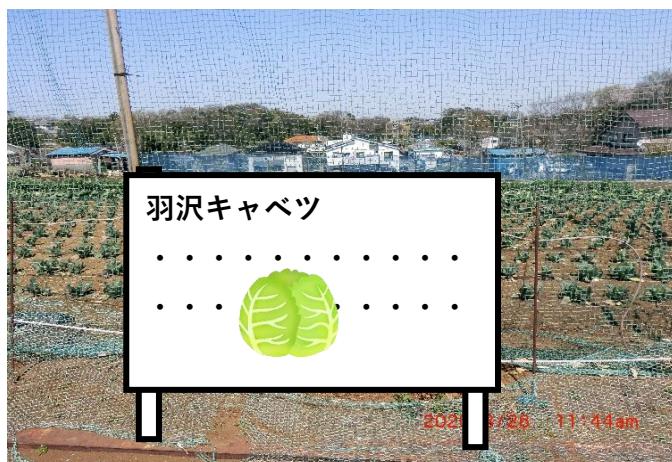
その坂や道に相応しい愛称を考えて、アンケート用紙に記入して地域の班長さんを通して自治会長さんへお渡し下さい。

回収されましたアンケート結果を各自治会で検討し名前を決めて頂きます。その後、他のサインづくり計画と併せて、「地域まちづくりプラン」としてまとめ地域の方々の賛同の上、横浜市に提出し、地域まちづくり推進委員会の審査を受けて横浜市が認定しますとサインとして設置されます。



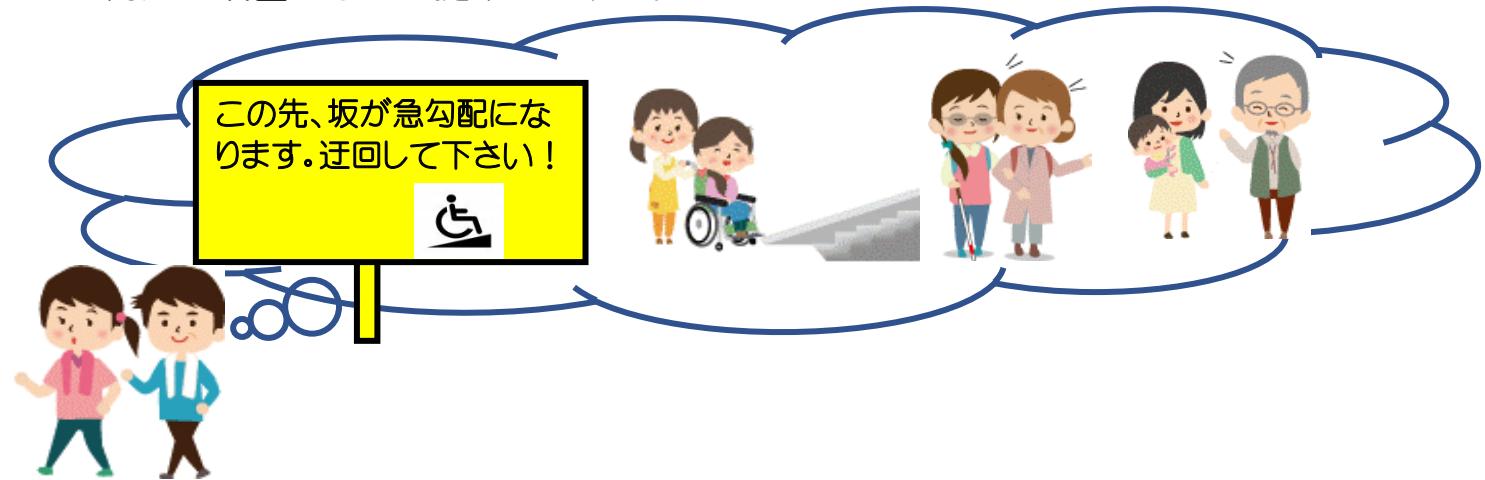
地域の歴史や名産品を調べて紹介サインをつくろう！

皆さんが住んでいる羽沢地区や常盤台地区の郷土史や名産品を調べるために、郷土史の文献や昔から住んでいる人や、郷土の語り部の方に話を聞いたりして勉強会を行い、それを紹介サインにまとめて現地に掲示しましょう。



9~10月に「バリアフリーまち歩き」が実施される予定です

一昨年の10月に横浜国大主催の「新駅周辺バリアフリー点検まち歩き」を行い横浜市へ「バリアフリー基本構想」を提案し、横浜市が基本構想を作成する事となりました。この時の提案を基に再度10月~11月頃に、横浜市バリアフリー検討協議会主催の「羽沢横浜国大駅周辺地区のまち歩き点検・ワークショップ」を予定しています。今回、サインづくり推進会から特にお願いしたいのは、身障者・高齢者・乳幼児に「この道は〇〇です注意して下さい！」と警告するサインを何処に設置するかを提案して下さい。



サインづくり推進会活動スケジュール

活動項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
計画	坂・道愛称サイン	➡	
	歴史・特産品紹介サイン	➡	
	バリアフリー警告サイン	➡	
	ギャラリー展示サイン	➡	
	地図付き案内サイン	➡	
	まちづくりプランまとめ	➡	
承認	地域住民の賛同確認		➡
	横浜市の認定		➡
実施	サイン製作・設置		➡

編集後記

「地域まちづくりニュース」をお読み下さり、ありがとうございます。
当初、4月発行の予定でしたが、コロナの為、計画変更の連続で何回も編集し直しました。
今回は、「まちづくり推進会」の紹介と当面の活動告知を載せました。
次号からは、その時々の活動報告や次の活動の告知に重点を絞りたいと思います。
皆さんからの投稿も歓迎しますので、自治会長さんを通して、「まちづくり推進会」へ
皆さんのお声をお届けください。

令和2年9月吉日、「羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会」

連絡先 tel/fax 045-333-7807 石川